



# 春季リーグ戦

◎四月一日 久宝寺緑地公園球場  
 和 大 000000000  
 甲南大 130200000x  
 (和) 佐々木一尾崎  
 (甲) 中島一石井

◎四月五日 住之江公園球場  
 神高大 000000  
 甲南大 6351x  
 (商) 長瀬・長山一広部

☆二塁打 上野山2・十河・橋本2(甲)  
 (甲) 長瀬・長山一広部

◎四月八日 久宝寺緑地球場  
 神外大 000000  
 甲南大 40112x  
 (外) 高山一中村  
 (甲) 内藤・長山一石井  
 ☆本塁打 平井(甲)

◎四月十日 尼崎記念公園球場  
 大経大 100010000  
 甲南大 00100002x  
 (経) 三好・島田一入谷  
 (甲) 中島一山下  
 ☆二塁打 石井(甲)

◎四月十二日 尼崎記念公園球場  
 近 大 000001001  
 甲南大 100010001x  
 (近) 近藤一松下  
 (甲) 中島・長山一山下  
 ☆本塁打 上野山(甲)  
 ☆三塁打 久次米(甲)  
 ☆二塁打 幸田・近藤(近)

◎四月十五日 尼崎記念公園球場  
 甲南大 0031212  
 和 大 0100010  
 (甲) 長山一山下  
 (和) 野倉・伊東一伊賀  
 ☆三塁打 上野山(甲)  
 ☆二塁打 平井・十河2・長山(甲)

◎四月十七日 舞洲ベースボール球場  
 甲南大 0040144  
 神高大 0000000  
 (甲) 中島・内藤一山下  
 (商) 裏山一広部  
 ☆三塁打 梶木(甲)  
 ☆二塁打 上野山・平井・久次米・山下・菅(甲)

◎四月十九日 住之江公園球場  
 甲南大 00120024  
 神外大 0000001  
 (甲) 長山・中島・内藤一山下・石井  
 (外) 山本一中村  
 ☆二塁打 石井・菅野(甲)

◎四月二十二日 尼崎記念公園球場  
 甲南大 140010000  
 大経大 103000000  
 (甲) 長山・中島一山下  
 (経) 島田・三好一田中・山岡  
 ☆二塁打 平井(甲)、武市・三好(経)

◎四月二十四日 尼崎記念公園球場  
 甲南大 002000000  
 近 大 000001000  
 (甲) 中島一山下  
 (近) 近藤一松下  
 ☆二塁打 橋本(甲)

順位	校名	甲南	大経	近大	神高	神外	和 大	勝点	勝敗
優勝	甲南大	○	○	○	○	○	○	20	10勝0敗
2	大経大	●●	○	○	○	○	○	14	7勝3敗
2	近 大	●●	○●	○	○	○	○	14	7勝3敗
4	神高大	●●	●●	●●	○	●●	○	4	2勝8敗
4	神外大	●●	●●	●●	●●	○	○	4	2勝8敗
4	和 大	●●	●●	●●	○	●●	○	4	2勝8敗

春季リーグ戦優勝！

最高殊勲選手 中島 大輔(甲南大)  
 最優秀防衛率 中島 大輔(甲南大)  
 首位打者 森島 茂品(大経大)  
 打率 〇・五〇〇  
 水間 博昭(近大)  
 打率 〇・五〇〇

〔打撃十傑〕

1 森島 茂品(大経大) 38 | 19 〇・五〇〇  
 1 水間 博昭(近大) 30 | 15 〇・五〇〇  
 3 幸田 優佑(近大) 38 | 18 〇・四八七  
 4 平井 隆之(甲南大) 36 | 15 〇・四一七  
 5 上野山英知(甲南大) 30 | 11 〇・三六七  
 5 橋本 純一(甲南大) 30 | 11 〇・三六七  
 7 坂本 啓(甲南大) 22 | 8 〇・三六四  
 8 谷口 淳哉(近大) 34 | 12 〇・三三七  
 9 菅野 稔(甲南大) 32 | 11 〇・三三四  
 10 久次米信吾(甲南大) 27 | 9 〇・三三三  
 10 澤田 将史(大経大) 39 | 13 〇・三三三  
 10 上利 司(神外大) 33 | 11 〇・三三三

〔ベストナイン〕

投手 中島 大輔(甲南大)  
 捕手 山下 晶起(甲南大)  
 一塁手 久次米信吾(甲南大)  
 二塁手 田中 利樹(近大)  
 三塁手 十河 克行(甲南大)  
 遊撃手 水間 博昭(近大)  
 外野手 森島 茂品(大経大)  
 " 平井 隆之(甲南大)  
 " 幸田 優佑(近大)

# 秋季リーグ戦

◎九月四日 住之江公園野球場

和 大 10000 1  
甲南大 33023x 11 (5回コールド)

(和) 佐々木-伊賀  
(甲) 中島-山下

☆二塁打 山下 (甲)

◎九月十一日 舞洲ベースボールスタジアム

神商大 00000002 2  
甲南大 20120103x 9 (8回コールド)

(神) 裏山・森-廣部  
(甲) 村上-山下

☆二塁打 十河・西田・山下2 (甲)

◎九月二十日 住之江公園野球場

神外大 000000000 0  
甲南大 03000001x 4

(神) 山本-中村(友)  
(甲) 村上・長山-山下・平井

☆二塁打 山本(神)

十河・西田・山下 (甲)

◎九月二十四日 住之江公園野球場

近 大 010000000 1  
甲南大 001000210x 4

(近) 近藤-川口  
(甲) 長山-山下

☆二塁打 田中(近)、十河・長山(甲)

◎十月二日 尼崎記念公園野球場

大経大 013000203 9  
甲南大 100101200 5

(経) 藤田・島田-山岡  
(甲) 中島・長山-山下

☆三塁打 津野(経)

☆二塁打 津野・三好・入谷(経)

西田・山下 (甲)

◎十月四日 尼崎記念公園野球場

甲南大 100100300 5  
和 大 020000000 2

(甲) 村上-山下  
(和) 野倉-木村

☆二塁打 十河・西田・山下2 (甲)

◎十月九日 尼崎記念公園野球場

甲南大 0701004 12  
神外大 0000000 0 (6回コールド)

(甲) 中島・村上-山下  
(外) 山本・巽・松下・矢形-中村(友)

☆三塁打 山下・吉竹(甲)

☆二塁打 西田(甲)

◎十月十一日 尼崎記念公園野球場

甲南大 200515 13  
神商大 0000000 0 (6回コールド)

(甲) 村上-山下  
(商) 森・中林・裏山-廣部

☆三塁打 十河(甲)

☆二塁打 平井・橋本・西田・山下(甲)

◎十月十六日 尼崎記念公園野球場

甲南大 00001202 5  
近 大 100000002 3 (時間切れコールド)

(甲) 長山-山下  
(近) 軒原・近藤-川口・南

☆本塁打 小佐々2(近)

☆二塁打 坂本2・平井(甲)

◎十月二十六日 甲南大学六甲アイランドグラウンド

甲南大 011021000 5  
大経大 000000020 2

(甲) 中島・村上-山下  
(経) 藤田・島田-山岡

☆三塁打 菅野(甲)

☆二塁打 平井(甲)

☆二塁打 平井(甲)

2002年秋季リーグ戦結果報告

順位	校名	甲南大	近大	大経大	神外大	神商大	和 大	勝点	勝敗
優勝	甲南大		○	●	○	○	○	18	9勝1敗
2	近大	●		○	○	○	○	16	8勝2敗
3	大経大	○	●		○	○	○	12	6勝4敗
4	神外大	●	●	●		●	○	6	3勝7敗
4	神商大	●	●	●	○		○	6	3勝7敗
6	和 大	●	●	○	●	●		2	1勝9敗

優勝 甲南大学 (4季連続・36回目)

最高殊勲選手 西田 和人(甲南大)  
最多勝利投手 近藤 隼人(近大) 6勝2敗  
首位打者 谷口 淳哉(近大) 28 | 13 | 〇・四六四

(打撃十傑)

1 谷口 淳哉(近大) 28 | 13 | 〇・四六四  
2 西田 和人(甲南大) 35 | 16 | 〇・四五七  
3 内海 恵造(近大) 22 | 10 | 〇・四五五  
4 十河 克行(甲南大) 32 | 14 | 〇・四三八  
5 林 隆暁(神外大) 23 | 10 | 〇・四三五  
6 山下 良起(甲南大) 37 | 16 | 〇・四三二  
7 平井 隆之(甲南大) 38 | 16 | 〇・四二一  
8 田中 利樹(近大) 34 | 13 | 〇・三八二  
9 伊賀 弘光(和 大) 21 | 8 | 〇・三八一  
10 津野 翔(大経大) 29 | 11 | 〇・三七九  
10 三好 知弥(大経大) 29 | 11 | 〇・三七九

(ベストナイン)

投手 近藤 隼人(近大)  
捕手 山下 良起(甲南大)  
一塁手 十河 克行(甲南大)  
二塁手 田中 利樹(近大)  
三塁手 西田 和人(甲南大)  
遊撃手 藤田 裕介(大経大)  
外野手 小佐々 武(近大)  
" 平井 隆之(甲南大)  
" 津野 翔(大経大)

秋季リーグ戦優勝!



2002年

思い出



2002年

## 思い出

まずはじめに、私はセレクションという形で甲南大学準硬式野球部にお世話になる事になりました。活動においてはすべてが新鮮でした。そして、チャレンジと失敗の連続でありました。それによって、今の自分があるという事を感じております。

活動の中でキャプテンを任されたという事が素晴らしい財産になりました。

私は小学校から野球を始めて、副キャプテンすらした事が無かったのですが、キャプテン候補の同級生が途中退部してしまい、私へと舞い込んできたのです。

自分にはキャプテンをやる自信は無かったのですが、決まったものはやるしか無いと、練習メニューを決めたり、ミーティングをしたり、試合ではサインを出して選手兼監督という立場でやり抜きました。

今思えば、大学生の1人暮らしで精神が不安定な中で部員を引っ張って行くというのは非常に難しい事でした。自分が今日はしんどいなあと思えば、すぐに周りに悪影響が伝わって良い練習が出来ませんでした。

その中でも吉岡監督、部員、マネージャーの支えが有り、リーグ戦を2期連続で全勝優勝をする事が出来ました。甲南大学準硬式野球部での4年間の活動を通じて、自分を成長させてくれました。

そして、現在の私、社会人として、父親として、人間としての礎に大きく影響を与えてくれました。

現役の部員たちも一生懸命やり遂げる事が出来れば、今後の人生で大きな糧になってくれると思います。

久次米 信吾